7430	携帯電話通信料		
品　目	銘　柄	詳　細	単　位
携帯電話通信料	国内通話・パケット通信サービスに係る料金（別途情報料などは除く。） 利用パターン別	企業指定，プラン指定	１か月

価格選定（銘柄）

(1)　①従来型携帯電話機

各種統計データなどから推計した１回線１か月当たりの通話時間とパケット通信量を，各々低利用・中利用・高利用の３パターンに分けて組み合わせた合計９パターンにおける最安価格を選定する。

②スマートフォン

各種統計データなどから推計した１回線１か月当たりの通話時間を，低利用・中利用・高利用の３パターン，パケット通信量１パターンと組み合わせた合計３パターンにおける最安価格を選定する。

(2)　通信事業者別，形態別の最安価格は，加入に制約条件のない割引サービスの中から選定する。

(3)　複数年契約を前提とする基本使用料割引サービスなどについては，加入に制約条件があるものの，例外的に最安価格の選定に用いる。

価格選定（詳細）

(4)　契約数の多い通信事業者を３社選定する。

(5)　スマートフォンは，通信規格，ＯＳ等により代表的な複数の形態を選定する。

指数算出方法

Ⅰ　従来型携帯電話機・スマートフォン(i)別，利用パターン(a)別平均価格の算出

①　形態(c)別の最安価格について形態別契約数の割合(q)を用いて加重平均し，通信事業者(b)別の平均価格を算出する（スマートフォンのみ）。なお,契約数の割合は毎年１月に更新する。

$$p_{(Y,M),i,a,b} = \frac{\sum_c p_{(Y,M),i,a,b,c} q_{Y-1,a,b,c}}{\sum_c q_{Y-1,a,b,c}}$$

②　通信事業者の契約数(q)を用いて加重平均し，利用パターン別の平均価格を算出する。なお，契約数は毎年１月に更新する。

$$P_{(Y,M),i,a} = \frac{\sum_b p_{(Y,M),i,a,b} q_{Y-1,a,b}}{\sum_b q_{Y-1,a,b}}$$

P, p	：価格
Y	：当年
M	：当月
i	：従来型携帯電話機(F)・スマートフォン(S)
a	：利用パターン
b	：通信事業者
c	：形態
$I^{(L)}$	：連環指数
I	：価格指数

Ⅱ　品目別価格指数の算出

③　当年当月の価格を当年１月の価格で除して算出した利用パターン別の価格比について，パターン数で単純平均し，当年１月を 100 とする従来型携帯電話機・スマートフォン別の連環指数を算出する。

（従来型携帯電話機(F)）

$$I^{(L)}_{Y,M,F} = \frac{\sum_{a=1}^{9} \frac{P_{(Y,M),F,a}}{P_{(Y,1月),F,a}}}{9} \times 100$$

（スマートフォン(S)）

$$I^{(L)}_{Y,M,S} = \frac{\sum_{a=1}^{3} \frac{P_{(Y,M),S,a}}{P_{(Y,1月),S,a}}}{3} \times 100$$

④　従来型携帯電話機・スマートフォンの契約数の割合（Q）を用いて加重平均し，当年１月を 100 とする連環指数を算出する。なお，契約数は毎年１月に更新する。

$$I^{(L)}_{Y,M} = \frac{I^{(L)}_{Y,M,F} \times Q_{Y-1,F} + I^{(L)}_{Y,M,S} \times Q_{Y-1,S}}{Q_{Y-1,F} + Q_{Y-1,S}}$$

⑤　当年１月の価格指数に当年当月の連環指数を乗じて，品目別価格指数を算出する。 $$I_{Y,M} = I_{Y,1月} \times \frac{I_{Y,M}^{(L)}}{100}$$
価格指数の適用 　全国一律